

防犯ニュース

防犯防災部

町田消防署管内の平成 22 年火災発生件数は、128 件と平成 21 年に比べ 33 件減少しました。

その火災の中で、57 件(44.5%)が、放火によるものでした。

燃えやすい物が置かれている場所、放置されている場所が、放火犯に狙われます。

会員の皆様には、下記のような放火対策をお願いします。

- ・物置や車庫などは、外部から簡単に侵入できないように、カギをかけましょう。
- ・ゴミは、決められた日の朝に出しましょう。
- ・家の周りは、いつも整理し段ボールなど燃えやすい物は置かないようにしましょう。
- ・家の周りは、死角を作らないように外灯などを付けて、明るくしましょう。
- ・車やオートバイなどのボディーカバーは、防災製品を使いましょう。
- ・共同住宅の廊下、階段などの共有部分には、物を置かないようにしましょう。

玉川学園地区計画ワークショップ

玉川学園地区事務局 前野 紀夫

町田市が主催のワークショップについて

以下のようなメッセージを頂きました

町田市ではこれまでの行政主導による計画策定から脱して、地域主導による地区計画を地区の町内会自治会を窓口にして地域の方々が集う地区ワークショップを開催して話し合いにより自らの地区の計画を練り上げます。

地域ごとにある生活課題を発見し、解決を図るためのワークショップになります。これによって、地域内の住民同士のつながりを強めることもねらいとしております。玉川学園地区は、元々多様な活動をされている方々がおられ、その実践を基に地区社会福祉協議会を設立し、先駆的に支え合いの地域づくりを行っています。

町田市はこの地区社協の活動そのものを玉川学園の地区計画に結びつけたいと考えております。地区ワークショップはこれまで 2 回開催しました。3 月 19 日に第 3 回目の開催を予定しています。市と社会福祉協議会もワークショップに参加して、地区社協の活動状況を伺い、あらためてその実践の素晴らしさに感銘を受けました。地域の多くの方々に玉川学園での活動を知っていただき、福祉サービスを受ける方と提供する方との絆を深め、福祉サービスの担い手となっていただける人材が増えていくことを市としても願っております。



花粉が飛散し始めています！

今年は例年の 2～10 倍の花粉量？！

日本気象協会のあまり嬉しくない今年の花粉情報です。

今や花粉情報は、天気予報と同時に報道されているので、出かけるときは天気と同様に注意する必要があります。

花粉症の患者が多いのは 20～40 歳代で、50 歳代からは少なくなるようです。また、高齢になって新たに花粉症になる例は少なく、若い時の症状が続くことが多いようです。従って予防としては花粉情報によく注意し、飛散量の多い日には外出を控えること、マスク、眼鏡をかけるなど注意が必要。そして治療に関しては、個人差があるのでそれぞれの専門医とよく相談することです。

4 月からの資源回収について

(表面よりの続き)

資源物	玉川学園地域	東玉川学園地域
古紙(新聞・雑誌・雑紙・紙パック・ダンボール)	毎週 火・金	毎週 水・土
古布(古着・毛布)		
ビン・缶類 (アルミ・スチールとも)	毎週 土	毎週 月

何が変わらないの？ 上に述べたようにしくみは変わりますが、皆さまは従来どおりの方法と曜日に資源物回収にご協力ください。その点では、何も変わらないと言えます。

資源集積所について 集積所には原則として町田市が定めた固有の番号が付いています。基本的に町内会はこれらの場所を使っていたので、今後も同様です。これまで、市の定めた集積所を町内会の資源回収に利用していなかったところも、今後は回収対象とします。市の番号のない集積所は、行政回収の曜日に実施されない場合があります。それについては、今後調整しますので、町内会事務所にお知らせ下さい。また、未回収などのクレームは、看板に示してある(有)大興資源に直接の連絡をお願いします。その際には、必ず集積所の記号例：玉学 5-012>をお伝えください。

なお、可燃物、不燃物の戸別収集や、乾電池などの有害物、ペットボトル、剪定枝や粗大ごみの収集などについては、これまで通り、町田市による行政回収です。あわせてご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせなどは、町内会事務所(725-0438)にお願いします。担当は環境部です。

たまがわがくえんちょうないかい広報 118号について
従来、毎年 2 回、春と年度末に発行していましたが、今年度年度末の広報は休刊させていただきます。

毎月発行しております町内会だよりで、お知らせ的役目は果たしていると思うこともあり、来年度は 5 月、11 月に内容豊かに発刊したいと考えております。